

拜啓各位彌々御安康奉賀候陳者本會祭祀部主催にて去る六月廿四日當市與賀町喜樂座に於て尼港殉難者慰靈祭執行仕候處各宗御僧侶の讀經 五十五聯隊長の吊文 來聽者總代の燒香に次て高山十八師團長並に各宗御僧侶の御講演を仰き誠に死者の靈も多大なる佛縁助成の事と深く喜び申候然るに此度其の遺族諸賢の愁憂無念の情を察し大方諸賢の御同情に基き左の日割の如く慈善演藝會を開催し其の収益を遺族方の亡き人の御靈前に供へ玉へる香花料として送金仕度候條御多忙中眞に恐入候得共何卒御來會被成下度此段御案内申上候也

佐賀市與賀町上宮教會

隨喜とは釋尊の經文より出たる語にして他の善事を爲すに對して滿心同情の心を起させば其の人は設令其の善事を爲し能はずと雖も其の功德は善事を爲したる人の功德に等したを隨喜と申すと説き玉へり

もろごもに たすけあひつく 國民の
むつびあふ世ぞ たのしみける

明治天皇の御製

七月十日十一日 兩日
(午後一時ヨリ夜十一時半迄)

佐賀市一の橋
榮
樂
座

三曲、琵琶、博多第一流の「仁○加」及び博多の粹たる「文人手踊」數番

以上

(順ハロイ)

氏 ミツカキカ千ミフキンハイサマツキアノキヒトツツツタト、ソヨヒ
エ タタミノ代キミンナトスツルキミツワセデモクルノキキヨ子サ

平井 スミ
森 スミ
森永 セツ
諸隈 ケサ千代
諸隈 ヒロ
毛利 エキ
千住 ユキ
杉松 サダ
杉町 ツル
末田 ヲウ
尚右演藝會
收支計算ノ
上佐賀縣廳
ノ手ヲ經テ
遺族ヘ寄送
ノ豫定ニ御
座候

日時

七月十一日
全月十一日
每日午后一時開會

尼港殉難者遺族
救助慈善演藝會

招待券

會場

佐賀市
一の橋

榮樂座

(枚一人一)

上宮教會
主演藝部
主 催